

四日市市職員募集 先輩職員の声



～事務職編～

■市の魅力を発信するシティプロモーション！

私の所属していた観光交流課では、四日市市の魅力を市内外に発信するシティプロモーションを行っています。

行っていることは多種多様ですが、例えば四日市市の夏の風物詩である大四日市まつり開催に向けてのサポートを行ったり、本市マスコットキャラクター「こにゅうどうくん」のテーマ曲のミュージックビデオを制作したり、お笑いイベントを開催したりと、様々な方法を使って本市をPRしています。

そのため、課の職員の中にはラジオのパーソナリティーがいたり、漫才をする者がいたり、動画編集をする者がいたり個性豊かなメンバーがたくさんいます。ただ、みんな元からそのようなことをやっていた訳ではなく、この課に配属されてから初めて挑戦する職員ばかりです。この新しい挑戦こそが本市のシティプロモーションにつながっていると感じています。

■働きやすい職場環境

四日市市役所に入社してみて、大変働きやすい職場であると実感しています。例えば、本市には新規採用職員をサポートしてくれるトレーナー制度があります。大学を卒業してすぐ入社し、右も左も分からない状態で不安がいっぱいでしたが、私のトレーナーが分からないことや、困ったことなどを丁寧に、手厚く教えてくださり、安心して日々の業務に取り組むことができました。また、先輩や上司に話しかけやすい雰囲気があり相談や質問などを気軽にできる環境で大変過ごしやすいです。

このように、働きやすく大変やりがいを感じられる職場で、みなさまと一緒に働くことができる日を心から楽しみにしております。



中村 紗矢音

<経歴>

令和2年

シティプロモーション部観光交流課

令和6年

健康福祉部障害福祉課

仕事内容

◆安心して子育てができる四日市市を目指して

四日市市では全国的な傾向と同様に、共働き世帯や核家族が増加傾向にあり、どのような世帯でも安心して子育てと仕事を両立できる環境づくりが必要となっています。私が配属されたこども未来課ではファミリーサポートセンターや病児保育室などの様々な子育て支援や、子育て支援センターにおいて、相談業務をきめ細かく行っています。

私は学童保育所の運営がスムーズにいくようにサポートすることで負担軽減を図ったり、人材確保・研修体制の充実させることで、保育の質の向上に取り組んでいます。実際に学童保育所に赴いた際には、児童も保護者の方々も生き生きと過ごせる環境づくりがどれほど重要かということを知ることができました。市民の方々が安心して子育てできる四日市市を目指して、子育て環境の向上のために、今後も精一杯取り組みたいと思います。

◆四日市市職員を目指したきっかけ

私は、県外出身者ですが、産業が栄えている一方で、自然豊かな環境もある四日市市にとっても魅力を感じ、この市で自分自身もより良いまちづくりに携わって「市民の生活に貢献したい」と思ったことがキッカケで市職員を目指しました。

実際に、その環境に身を置いて、市民の方々と直接顔を突き合わせて話を聞き、改善策を考えて提案したり、サポートしたりするという事は、自分が想像していたよりも大変でした。その反面、市民の方の思いに応えられたときには、やりがいや達成感を感じることができました。

より良いまちづくりと一緒にできることを楽しみにしております。



石丸 博章

<経歴>

令和4年

こども未来部 こども未来課

■ご存知ですか、固定資産税

私が所属する資産税課では、土地、家屋そして事業用償却資産（総称して「固定資産」といいます）の所有者に納めていただく税金である固定資産税の課税業務を行っています。

私は固定資産の中でも土地に関する業務を担当しており、実際に現地に調査に赴き評価を行い土地の税額を算出しています。固定資産税はどのように算出されているかむずかしいと感じている方も多いため、理解していただけるように丁寧な説明をすることにやりがいを感じています。

■生まれ育ったまちに携わる

私は、様々な側面から生まれ育った四日市市に関わることができ貢献できる市役所職員の仕事に魅力を感じ志望しました。

働きやすく、そしてやりがいに満ちた四日市市でこの職員募集案内をご覧いただいている皆さんと一緒に働ける日をお待ちしています。



畠中 梓

<経歴>

平成30年

財政経営部 資産税課

～保健師編～

■行政保健師（母子保健）としての魅力

大学の講義や実習で学んできたつもりでしたが、実際に保健師として働いてみると、わからないことばかりで最初は戸惑いました。先輩方の実践している様子を見たり、アドバイスをいただいたりし、日々業務に励んでいます。育児の悩みや家庭環境もそれぞれ異なるため対応に戸惑うことも多々ありますが、まずはお母さんの気持ちを受け止めることが大切だよと教えてもらいました。気持ちを受け止めることで信頼関係を築くことができ、お母さんが本当に困っていることを知ることができ、支援していくことができるようになりました。訪問先や電話でお母さんから「ありがとう」と感謝の言葉をいただけたときに、保健師として働いてよかったと感じます。

■働きやすい職場環境

やりがいのある仕事ですが、お母さんからの育児の悩みに対してどのようにアドバイスしてよいかわからないこともたくさんあります。しかし、困ったらすぐに相談できる先輩保健師がたくさんおり、優しく助言してくださるのとても働きやすいです。相談しやすい環境のため、保健師としての知識が増え、自分自身の成長にもつながっていると思います。先輩方から教えてもらったことを活かし、こどもとお母さんの心と身体の健康を守っていきたいです。



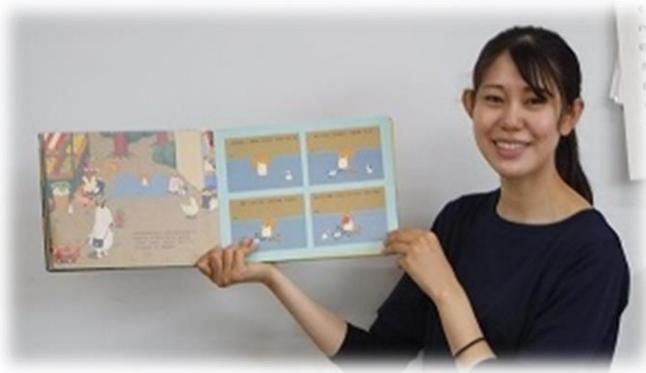
鈴木 天音

<経歴>

令和3年

こども未来部こども保健福祉課

～保育教育職編～



林 衣実瑠

<経歴>

平成31年 こども未来部保育幼稚園課内部保育園
令和5年 こども未来部保育幼稚園課塩浜こども園

■子どもたちの笑顔がパワーの源！！

大学で学んできたつもりでしたが、いざ保育現場に入ると、一つひとつの事例に悩み戸惑いました。経験豊富な先輩方から、実践している様子を見たり、アドバイスをいただいたりし、学びの毎日です。毎日一緒に過ごすからこそ、子どもの初めてできた、初めての発見に出会うことができます。大変さもありますが、自分の思いが子どもたちに伝わり、楽しそうにしている姿や成長が見られたとき、「せんせい」と笑顔で駆け寄ってきてくれる姿にパワーをもらえ、やりがいを感じます。

■家庭と仕事の両立が実現できる職場

先輩保育士の方が育児休暇を取得していたり、家庭や子どもの用事で休暇を取得していたりと子育てをしながら働きやすい環境であると思います。私も将来、結婚をして子どもを出産しても仕事を続けていきたいと考えています。子どもや家族との時間を大切にしながら仕事を続けていけることは、とても幸せなことです。私もこの環境に感謝し、仕事を充実させていきたいと思っています。

■魅力・やりがいのある仕事

幼稚園教諭として働く中で、毎日新しい発見があり、とても充実しています。自分の知らなかった子どもの一面を見つけ、生き物や野菜の育て方を子どもたちと一緒に調べるなど、喜びや驚きのある日々を楽しく過ごしています。また、登降園の送迎の際、保護者の方と毎日顔を合わせて、一緒に子どものことで考え、時には悩み、何より、成長を共に喜び合うことができるのも大きな魅力です。

地域とのつながりも強く感じます。地域の方とは、野菜の苗植えや収穫、やきいも大会などを経験させてもらったり、竹トンボやコマ回しなどの昔の遊びを教えていただいたりします。給食試食会や遊びなどで、近隣の保育園や小学校と交流することもあり、地域に支えられていることを、幼稚園教諭2年目になり改めて実感しています。保護者の方をはじめ、地域の方のご協力があり、たくさんの方々とのふれあい、あたたかい見守りがあることは、子どもたちの健やかな成長の後押しになっていると思います。

■先輩職員の充実したサポート

このようにやりがいのある仕事ですが、子どもとのかかわりで悩むこともたくさんあります。しかし、先輩先生方に話を聞いてもらい、アドバイスをいただくことで、自身の保育を見つめ直し、次の日を新たな気持ちで迎えることができる職場環境があります。これからも、子どもたちが毎日楽しく幼稚園生活を送れるように、向上心と探求心を忘れずに、全力で努めていきたいです。



小西 佐季

<経歴>

平成31年
こども未来部保育幼稚園課内部幼稚園

■社会人として

私は工業高校を卒業し、そこで培ってきたスキルを活かしたいと思い、土木技師として四日市市役所を志望しました。学生時代は自分に公務員が務まるか不安でしたが、職場には同じ高校の卒業生の先輩も多く、丁寧に仕事内容を教えてもらいながら働いています。仕事を行うにあたって、自分が担当する業務のスケジュール管理を行うことにより、空いた日を休暇にあてることができ、仕事と生活の両立を実現することが可能で、非常に助かっています。

■住みやすい街へ

上下水道局は市民の方の生活を支えるライフライン企業であり、よりよい街を創るために上下水道の整備や維持管理を行っています。私が配属された下水建設課では、主に公共下水道の新設工事を行っています。基本的な業務の流れとしては、工事に関する設計や積算を行い、工事業者が決まれば現場での立会で工事の進め方などを協議していきます。下水道管の工事は道路の下へ埋設することがほとんどであるため、騒音や振動、交通渋滞などにも配慮する必要があり、出来る限り市民の方にご迷惑のかからないよう、工事毎に説明会を開催したり、工事案内の回覧を回したりするなど、事前の周知が非常に重要となります。下水道工事が終われば、正常に使えるか等の検査を行い、問題がなければ住民の方に下水道設備を使用して頂けることとなります。決して簡単な仕事ではありませんが、その分大きな達成感や、やりがいを感じられる仕事だと思っています。

今後も、自分の仕事一つ一つが四日市市をよりよい街にしていけるものであるとの気持ちを持ちながら、日々の仕事に努めていきたいと思っています。



加藤 智也

<経歴> 令和3年 上下水道局技術部下水建設課

■やりがいのある仕事

私が所属していた道路維持課では、道路の維持管理を行っています。道路は生活に身近な施設であるため、安全性が非常に大事であり、自分の仕事が、道路上の事故を一つでも少なくできるようにと日々の仕事に努めていました。道路は市内のいたるところにあるため、日々市民の方から受ける要望も多いですが、その分成果も多く、地元の方から感謝されることも多いため、やりがいを日々感じるすることができます。

道路に関する地域の課題に市民目線で取り組み、今後も市民の方に感謝されるような維持管理をしていきたいと思っています。

■インフラの維持管理

近年では、老朽化した土木構造物が多く、道路に限らずインフラの維持管理が重要な時期となっています。維持管理は地味な仕事と思われがちですが、今の維持管理をどうするかで、将来の土木構造物の運命が決まってくる大変重要で、やりがいのある仕事です。これから部署が変わったとしても、維持管理を大切にすることをしたいと思っています。



西井 誓哉

<経歴> 平成23年 上下水道局技術部下水建設課
平成27年 四日市港管理組合施設保全課
平成30年 四日市港管理組合建設課
令和元年 都市整備部道路整備課
令和2年 都市整備部道路維持課
令和6年 都市整備部都市計画課
公共交通推進室

～建築職編～



南部 亜佐美

<経歴>

平成29年 都市計画部建築指導課
令和4年 都市整備部営繕工務課

■次の世代まで利用される施設を創る

現在、私が所属している営繕工務課は、市が所有する建物施設の設計・施工監理を行っている部署です。

多数の方が利用される公共施設を、安全で快適な建物になるよう設計・施工監理することは、責任はありますが、とてもやりがいがあります。

また、建築技術職として、建てた物が形となって残り、また、その施設を市民の皆さんに利用していただける点に、非常に喜びを感じます。

■建築のプロフェッショナルとして

公務員には人事異動がある為、いろいろな職場を体験し、様々な知識を身に付けることができます。

建築指導課では建築基準法、営繕工務課では工事設計施工についてというように、私も都度、勉強し、経験してきました。

市民の皆さんは、私たちのことを信用して相談に来られるので、プロフェッショナルな対応を求められます。

そのため苦勞する事もありますが、困った方のお役に立てた時には、充実感を得ることができます。



服部 雄斗

<経歴>

平成29年 都市整備部営繕工務課
令和 3年 都市整備部建築指導課

■防災の意識を高める

私は所属している建築指導課で、既存建築物の維持管理及び防災、耐震改修の促進に関する業務を行っています。

東海地震の発生が今後30年以内に発生する確率が70%と想定されており、「旧耐震基準」で建築された多くの建築物が耐震性が不十分であるとされています。耐震改修の促進を行うことで、市民の方々の防災の意識を高めてもらい、震災時に被害を最小限に抑えることを目指して業務を行っています。その点について業務へのやりがいを感じます。

■行政における建築技師の役割

公務員には人事異動がある為、様々な知識を身に付けることが必要になります。当初配属された営繕工務課では工事や設計について、現在は建築指導課では建築基準法や条例について勉強し、業務に励んでいます。

市民の方からは行政としての回答が求められるため、大変な面もありますが、建築技師として経験や知識を深め、自身の成長を感じることに非常に充実感を感じます。

～電気職編～

■電気職の役割

私は営繕工務課で電気技師として、建築物の新築工事や老朽化した建築物の改修工事の設計や施工監理をしていました。学校などの公共施設の工事では、時代のニーズに合わせて児童・生徒の使いやすさに配慮し業務に取り組んでおり、実際に児童・生徒が学校で楽しく遊んでいる姿を見ると大変嬉しく思います。

■ITを用いた業務改善

営繕工務課では作業の効率化を進めるため、デュアルディスプレイや、タブレットを導入し、図面チェックや書類作成、打合せを行っています。



■ワークライフバランスの充実

市役所ではワークライフバランスを重視しており、仕事と私生活の両方が充実しています。仕事終わりや休日には同期や友人と食事などに行ったりリフレッシュしています。

河北 将馬

<経歴>

平成31年

都市整備部営繕工務課

令和6年

商工農水部農水振興課食肉センター・

食肉地方卸売市場



～機械職編～

■市役所の機械技師の仕事

私は入庁後、台風や大雨などによる浸水を防ぐ施設であるポンプ場や、汚水を処理し河川や海に放流する施設である浄化センターなどの設計・現場監督・維持管理の業務を担当してきました。

自らが設計に携わった施設について、自らが工事の監督を行い、施設完成後の維持管理にまで携わることもあります。長い時間と苦労を重ねて設備が完成した時には達成感を感じますし、設備の設計から維持管理まで主体的に携わることで、様々な視点から設備に携わることができ、自らの知識を深めることができる仕事です。

■自分の作った施設とともに市民の生活を守る

私たちが関わっている施設は、ライフラインと呼ばれる市民の生活に欠かせないものです。

台風や大雨などによる災害が想定される時には、市民の安全・安心を確保するため、自らが手掛けた施設とともに徹夜で作業することもあります。

苦勞することもあります。設計段階から日常の維持管理まで携わっている施設が、市民の生活を守っていることを実感でき、様々な視点から設備に携わることができるため、とてもやりがいを感じる仕事です。



細野 涉

<経歴>

平成29年 上下水道局技術部施設課



やり
がい

安定

通勤
便利

転勤
なし



問い合わせ先 人事課 ☎059-354-8120